

一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 31 年 2 月 14 日
東村山市議会議長あて

議席番号 15 番
質 問 者 小町 明夫

記

1 学校プールのあり方について

公共施設再生については担当所管を設置、精力的に将来の施設再生に向けて取り組んでいることは評価するところである。東村山市においては公共施設の約 6 割を占める学校教育施設をどのように再生、統廃合していくかがポイントではないかと思っています。今回は学校プールの持つ課題について以下質問します。

- ① 学習指導要領におけるプール授業はどのように位置づけられているのか伺う。
- ② 小学校、中学校の年間プール授業数を伺う。
- ③ 小中学校におけるプールの設置基準について伺う。
- ④ 小中学校におけるプール授業に指導のバラツキはないのか伺う。
- ⑤ 学校プール授業において事故等の発生状況を伺う。
- ⑥ 市内公立中学校において水泳部が設置されている数を伺う。
- ⑦ 1 校当たりの（小中学校の平均値）プール全般における維持管理コストを伺う。
- ⑧ 神奈川県海老名市や千葉県佐倉市では市営屋内プールや民間プールに授業を委託しており、他にも検討を始めた自治体もある。当市としてはそのような取り組みがあることを承知しているのか伺う。
- ⑨ 小中学校プールを一部もしくは全部を廃止して公営プールや民間プールに委託した場合のメリット、デメリットをどのように考えるのか伺う。
- ⑩ 「施設再生ケーススタディブック」にも学校複合化後のイメージには屋内プール設置が描かれている。将来的なことも重要であるが、現状市内小中学校の近隣にある公営プールや民間プール活用の検討を提案するが見解を伺う。
- ⑪ 公共施設再生を待つことなく出来ることから始めることを重ねて提案するが市長の見解を伺う。

2 連続立体交差化事業に伴う府中街道と鷹の道の交差部について

東村山駅周辺連続立体交差化事業も事業開始から4年が過ぎ、工事の中盤を迎えて駅周辺においても事業進捗が感じられるようになってきました。今回は主に鷹の道と府中街道、3-3-8号線整備を中心に以下伺います。

- ① 東村山駅周辺連続立体交差化事業の現在までの工事進捗状況を伺う。
- ② 地域からは高架工事に関連して特に仮線設置に向けて借地になる土地所有者から不安の声を聞くことがあるが市として把握しているのか伺う。
- ③ 3-3-8号線整備完了後の東村山郵便局周辺の交差部はどのようなになるのか伺う。
- ④ 連続立体交差化事業で5か所の踏切が除却になっても、周辺の道路整備に地元の要望がしっかり反映されることがこの事業における最大のテーマであり課題である。渡部市長の見解と今後の取り組みを伺う。

3 ブロック塀改修に補助金対応を望む

国会において今年度の補正予算が成立し、ブロック塀等の安全確保の推進について予算化がされました。しかしながら東村山市が予算化をしなければ国都の補助金活用はできません。早期の補助金対応実現を望み以下質問します。

- ① 昨年9月定例会での補正予算質疑において、本市としては生垣設置の推進について補助金増額対応を行ったが、その後生垣設置は進んだのか伺う。
- ② 市民からブロック塀改修に補助金対応してほしいとの声を多く聞いている。市役所にはどのような要望があるのか伺う。
- ③ 国の補正予算、都の補助金を活用するには本市としてブロック塀改修に補助金対応することが大前提となるが見解を伺う。